

# ファミリーマート様 夢の掛け橋募金 2021年～2022年度 ファミリーマート様とセーブ・ザ・チルドレンの主な連携事業報告

## 国内

### ◆ オンライン子育て交流会～「ポジティブな子どもとの向き合い方を一緒に考えよう～」を共同開催～ (2021年1月)

ファミリーマート様が地域の方と子育て家庭の交流の場になりたいとの思いから名古屋市にオープンした保育所隣接一体型店舗「ファミリーマート葵北店」とのコラボレーション企画として「オンライン子育て交流会」をファミリーマート様とセーブ・ザ・チルドレンの共同で開催しました。

当日は、セーブ・ザ・チルドレンのスタッフが講師を務め、計17人の子育て中の方が参加されました。講義やグループワークを通じて、子どもを一人の人間として尊重しながら関わっていく「ポジティブな子育て」のヒントを学びました。

参加者からは、「伝える子育て」という考え方が印象に残りました。感情的になっても伝わらない、言い方を少し変えるだけでも伝わり方は違ってくるなど、工夫することの大切さを感じました。「以前からアンガーマネジメントに興味があった。子育てに限らず、職場等、対人関係にも役立つと感じます。」などの感想が寄せられました。



©Save the Children

## 国内

### ◆ 『いま、私たちにできることを考えよう』SDGsオンライン教室を開始 (2021年3月～)

ファミリーマート様とセーブ・ザ・チルドレンとが共同で取り組む次世代育成のための新たな活動として、中高生を対象に「持続可能な開発目標(SDGs)」をテーマにした出前授業『いま、私たちにできることを考えよう』SDGsオンライン教室を開始しました。

この教室は、ファミリーマート様とセーブ・ザ・チルドレンのスタッフが共に講師を務めるもので、両者で何度も話し合いを重ね、企画を練りました。身近なテーマを題材にしたワークショップを通じて中高生にSDGsを自分ごととして捉えてもらうと同時に、企業とNGOが連携して社会課題解決に取り組む意義を理解してもらえる内容となっています。

これまでに、パイロットも含め計5回開催し、計500名以上の中高生に参加いただきました。

参加した生徒たちからは、「身近な問題でもSDGsに関係していることを知ってとても驚いた」「自分達にできるSDGsに向けた取り組みは沢山あることに気づきました」といった感想が聞かれました。

実施校：早稲田大学系属早稲田佐賀中学校、石巻市立桜坂高校、愛媛県立土居高校、大分県岩田高等学校、豊中市立庄内さくら学園中学校



©Save the Children



©Save the Children

## 国内

**◆ 夏休み体験プログラム『いろいろな仕事をのぞいちゃおう！職業フェア』にファミリーマート社員の方に参加いただきました (2022年8月)**

2022年8月5日、セーブ・ザ・CHILDRENとつながりのある中高生世代を対象に、夏休み体験プログラムの一環として、「職業フェア」を開催しました。ファミリーマート様を含む様々な業界の企業5社が登壇され、それぞれどんな仕事をしているのかプレゼンテーションをしていただきました。

ファミリーマートには、お店で働くスタッフ、店長、そのお店を支える本部など、幅広い仕事があることや、ファミリーマートが取り組むサステナビリティ(持続可能性)の取り組み、そしてこれから仕事をしていくうえで必要な能力や、ファミリーマート社員が仕事をするうえで大切にしていることなどを分かりやすく紹介していただきました。

後半は、グループに分かれて子どもたちからの質問に答えていただくセッションを行いました。「お仕事ではどんなハプニングがありますか」や「なぜこの企業で働くことを決めましたか」などたくさんの質問に、とても丁寧に回答いただきました。

参加した子どもたちからは、「働くことに興味がわいた」「今後の進路に役立つ貴重な情報を得ることができ、視野を広げることができた」といった感想が聞かれました。



©Save the Children

## 国内

**◆「夏休み 子どもの食 応援ボックス」を3200世帯に配布 (2022年7月)**

日本の子どもの7人に1人が相対的貧困下にあると言われるなか、セーブ・ザ・CHILDRENは、2020年より新型コロナウイルス感染症拡大への緊急支援として「子どもの食 応援ボックス」を開始しました。2022年からは子どもの貧困問題解決の一環として、本取り組みを継続し、経済的に困難な状況にある子どもたちに食料品などを届けています。

この取り組みは、ファミリーマート様を含む様々な企業の皆さまからの資金協力および商品提供により実施しており、2022年7月には、全国3200世帯に主食(米や麺)、調味料、レトルト食品、スープ、お菓子などを送りました。

なお、ファミリーマート様の有志従業員の方には、倉庫での梱包作業のボランティアにも参加いただきました。応援ボックスの中に同梱する子育て支援情報のリーフレット等を束ねる作業をお手伝いいただきました。

応援ボックスを受け取った方々からは、「物価高騰でなかなか厳しい状況の中、本当に助かりました。子供にお腹いっぱい食べさせてあげられます。」「ああ、一人じゃないんだな、だれかがどこかで応援してくれているんだな」としみじみ痛感して、涙があふれて止まりませんでした。」といった声が届いています。



©Save the Children



©Save the Children

## 海外

### ◆ タイの子どもの水の事故防止推進事業 (2019年3月～2021年4月)

タイでは、15歳以下の子どもの死亡原因で最も多いのが溺死であり、2000年から2018年までの間に合計2万2千人以上の15歳以下の子どもが亡くなっています。

こうした状況を改善するため、ファミリーマート様のご支援により、2016年より首都バンコクにおいて子どもの水の事故予防事業を実施し、さらに<第2フェーズ>として、2019年3月から2年2ヶ月にわたり、計15校の小学校の子どもたちを対象に、事業を実施しました。

啓発教材の開発、教師や子どもに対する水の事故予防のための講習、生徒とその保護者や社会に対する啓発活動、障害のある子どもの水の事故予防のためのガイドラインづくり、国レベルで子どもの水の事故予防の活動が実施されるようになることを目的とした関係省庁に対する働きかけなど、様々な活動を実施しました。子どもたちや地域住民の注意を喚起するためのキャンペーンとして、“啓発のためのストリート・アート”を作成する取り組みなども行いました。

講習に参加した子どもの声：「これまで泳ぐことができませんでした。講習3日目には空のボトルを抱えて水面で浮いて助けを待つ姿勢を取ることができるようになりました。これが命を助けることにつながることに、とても驚きました」(男子生徒)

この10年ほどで、タイにおける子どもの水の事故の犠牲者の数は半減するなど、子どもや保護者、社会の中で子どもの水の事故のリスクや予防の大切さが普及してきたことがうかがえます。本事業で作成した教材やガイドラインなどが今後もタイの教育現場で活用され、子どもの命が守られる活動が続いていくことが期待されます。



## 海外

### ◆ウクライナ危機 緊急子ども支援(2022年3月～)

セーブ・ザ・チルドレンは、ウクライナ国内の子どもたちやその家族が避難している国々で、様々な支援活動を展開しており、ファミリーマート様の「夢の掛け橋募金」の一部も、この活動に使わせていただいています。

危機発生から数日で緊急支援チームが現地に派遣され、食料や生活必需品の配布を開始し、同時に子どもの保護の支援を開始しました。

食料や衛生用品、毛布、乳幼児キットの配布や、緊急のニーズと早期の生活再建に向けた現金給付を行っています。また、家族と離ればなれになった子どもへの支援、子どもを暴力や虐待、搾取などから守る子どもの保護の支援や、子どもとその家族への心理的応急処置の提供を行っています。

子どもと若者が安心・安全に過ごすことで日常性の回復をサポートする「こどもひろば」を設置したり、教育キットの配布や学習支援プログラムの提供、安全な学習環境の提供なども行っています。

